

鄉  
之  
集

新鄉校  
愛護公 文芸部  
卷行

卒業生の  
よろこびの声

てじゅくへしてしまった。まだ、ある  
でも、それらのひとが魔に出しがら平  
葉しなければならない。

かよいはふた新御衣と別れなけふばな  
りません。本当に来て来さうです。

小林昭

かよいな木下新鶴様へ別れなけふばな  
りません。本当にほて来そうです。  
でも工業生がこの歌うとうたひはや  
く上の學校へ行くにいのと鬼いまし  
上か、その時になろと淋しいやら不  
幸な生の物語に一生忘れません、長  
小林昭二

# 卒業式を迎えて

葉の日を迎えて、もう六年もたつたの

迎えで吉川青

かなか幼稚園から数えると七年もの長い間で、黒革で学校へ行ってくれた

とお題にはひやしひや、半の七年の  
学校生活の中で子供たへはすぐと伸  
びて来たのです。毎日毎日共にくら  
していふと子供の成長はてぐなに気がつ  
きません。特に大人の子供さんのお  
のる方は農家の多忙な家庭の為に気がつ  
くづれ、毎日毎日をすこしていづれを  
と思います。子供さんのがん氣をしたたり  
時別交つた事があるとその時は田の色々  
をかえて子供さんの跡跡をうじ配を  
するものですが、平生は只塙々として  
順調で日々をくり返すのみで居ます。

少し子供さんの性格を少しきれいに子供さん自身の身体と心の発育を考えます時に親御さんとしては養育の点は最大限大切にしなやましく事を推奨します。

見ながへるのではなうか。  
終戦後九年の義務教育が施かれた  
に生徒は校 大学へ入学者は年が毎年  
増してゆく現在、皆子様の教育に並ぶ  
らぬが苦勞があると想ひますが、至  
伏さんは森林の里です。金や物でとり  
かえる事のできない事は生徒です。小  
学校・中学校は可もなく、世の中のしみ  
に来まらない絶景なもので、まだく  
伏さんへの心地よいところをうながす  
でいる年頃です。

森川澄男

る。今よりももう一層熟練して衆の人  
喜ばせてあげよう。しかしして立  
派に新御体を卒業したい。

なありがとうございました。何も知ら  
ちかっただ畢竟もだんだん階段を上って  
行くうちに今更ながら、おつてください  
ました先生の教えを心からちやう  
と行きたい。

だが、先生もがんばって六年間とす  
こして来ました。去年六月を選抜時  
早く行つておまえが結構が一番上に立  
かると思つた事もありましたが、今父  
兄達が卒業する事になりました。もう二度と

つぱりあつて運動場つしかなかつたが  
今ほきれいである鉄橋もミヤンダルも  
よがんでゐる。玄文を見て右岸・運動

僕達は毎年六回会すとして、今少く  
う立派原中へ行、て勉強します。この  
六年間に少く、先生で頗る忙れて  
しまつた先生もあります。こうして毎

強をした。三年生の時佐々木先生が亡つて、井内先生が来らハーモニカを貰つた。三年の時、王之江、蔭天令等竹松

田舎者して来ました。一年の時はあ  
い、う、とかくのがやつでした。が  
もう漢字もたくさん知り憶どか何十キ  
とさう大きな事もつて、ます。この

（内）には死んでしまった先生、遠くへ  
行って一また先生 病気になつた先  
生もある。今のままで中学校へ行くの  
はまずかしい。わざと中学校へこむよ  
うなげふば。  
二小から中学校だ。へつてから中  
学校へこむよ。いつまでも中学校  
で年少していなま。いつまでも中  
学校へこむよ。他の學校にに行けな  
いからしゃかりやつてください。  
山田一夫

つた。さみしくなったが、そのころかねて  
の絶食があらかじめ決めていた。満足や満  
足のいい鬼へ出になつた。山へリコへ  
へたのいい鬼へ出になつた。

ようにならだのも学校のおかげです。  
「へへへ」先生、病氣でやめられた先生  
生もありますが、僕達はしっかりと勤務  
してりうござん人間になります。どうう

うなげれば、  
これからは中学校だ。入ってから新御  
伊藤萬子  
ひつかし中学校と剪れて中学校へ行け  
から来たものはえらいと言わねたい。  
来る、淋しい林なられしいよつと這はで  
午業午前にもよい事してから中学校へ  
す。先生や親の人の懸念はゆれる事  
行きたい。五年生をいじめではかりに  
たのに懸念を送る金を貰えてくらが五  
年生アリヤンと。五年生がまだ四年生に占  
あざきまくへ。二千円の足りない金を貰

未入へた。分園で河内にまけてしまったが、白いてつぶれてしまったり、波で衣服がぬれてしまったり。体験会もたのしきつれてしまった。

正義の爲めに奮闘していってください。

す。牛生や家の人の想はゆれる事  
ほどございません。六年前の思い出が走馬  
燈のようにうかんできます。中学校へ  
行って今ままでとかわらずに手とつ  
て教えてください。

たのに僅毫も送り金を貢えてくれる五  
年生ありがとう。五年生が機関車にむ  
かして新駅名とよばれ校といかれるよう  
にしてくべ、りつ「<sup>ひ</sup>にむつてくれ、僕  
もがんばるよ。



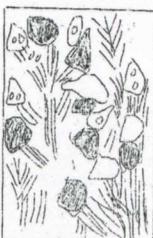


勤務も大へんづかしく、これは何とかとみかれてもこだえます。どうかすると子供におこえられることがあります。不快な業種ですが、とてもよくなっていますが、先生方と一緒にしてもさびしゃくあります。私はまだ四年になりますが、学校はまだ四年になりますが、子供はまださびしいで腹ますか。子供はまださびしいでしょう。

先生の新作題に「」に  
れ申上げます。

日不語

去る二月二十八日 文部省主催全国新生活運動優良地区田十一地区的へ  
ち 特別優良として名古屋管内地区がありました。特別運動部、その次に参列の先生たちが得ましたことは、生産活性化の感覚でした。席上六地区的宣读發表がありまして、特に婦人の運動によって良い成績をあげた二地区的の発表があり、その活動状況をみると、(内食の詳細)は販賣しますが)特にかんじてこれは、立地条件やむろく、地区全体の販賣実績をよく、疲労人への極意をしていたのを婦人の力で地区全体をよくからせ立ち上がるべく、本年は統計記入の順序よりはじめ、家庭生活の合理化、生産物増産をはかり、地区一丸となって田耕年でせざるに農業、販賣、商標は



の  
そ  
む

三月十四日 福井県立森林生態園  
春があり、各郡より一地区的収穫があつて、その席上、鶴見地区のお母さんも喜び、暮来地区の収穫を頑張るべく、婦人の活動状況の発表があり、ハルモエ立派な内閣食卓であった。いずれの地区も一番困難につきあつたことは、その地区に伝わる西人との因習と封建性であり、これまで打破されてしまふなど、材づくりはできまいと叫んでいた。各区とも最初はお手にいらず合ひを繕つてもつこと、自分の手やみやびととかくすず春表と食事が大きじ原動力となつてゐる。  
詰し合ひにより併すること、それを行つてつことに、おまへの理解が大切であつうるのもやう。新柳枝下は立派なものよく環境にあらぐまれている関係で、あまり婦人の活動をして

昭和二十一年度		学校行事概要
五月一日	四月一日	令式 謹謹總會
八日	二日	告別式
十六日	三日	畢業式、新任式
十八日	十六日	成績(全體奉公)
三十日	廿一日	身体検査(判定)
三十一日	廿二日	第一回規畫級
三十二日	廿三日	身体検査(校医)
三十三日	廿四日	春慶(三年) 加入
八日	廿五日	(三月) 永平
十日	廿六日	(五六九) 那谷
廿三日	廿七日	大年奉手割定
廿四日	廿八日	身体検査(歯科)
廿五日	廿九日	第二回規畫級
廿六日	三十日	小體會

卷之三

八月十四日	北本堂御詔勅説会
十五日	中秋
十六日	河内
十七日	角屋
十八日	母青
十九日	合同奉仕作業
二十日	オニ学期授業式
廿一日	オノ回田講習會
廿二日	体育大會
廿三日	全國學力テスト
廿四日	秋篠連定(一九三一年)
廿五日	(四五年)
廿六日	研究授業
廿七日	研究授業
廿八日	昇主大會
廿九日	才士回井講學殿
三十日	指掌主事室校訪向

三月三日 終食奉公会開催報告  
田口 研究授業会  
士日 母親の祝修了式  
十七日 年修業会  
平葉生徒会  
十四日 午修業会  
十五日 午後修業会  
三月四日 午休業会  
ヘンリイフ後記

十二月六日	十日	オハ固母體字級 魔數テスト
十一日	十九日	おや会
十二日	二十日	各会員 聖書公會会
十三日	廿一日	新年挂祭式
十四日	廿二日	才喜賀祭
十五日	廿三日	知能テスト
十六日	廿四日	才九思體育會
十七日	廿五日	給食会
十八日	廿六日	才九思體育會
十九日	廿七日	平日
二十日	廿八日	平日
廿一日	廿九日	手言
廿二日	三十日	二月
廿三日		二月十日
廿四日		二月十一日
廿五日		二月十二日
廿六日		二月十三日
廿七日		二月十四日
廿八日		二月十五日
廿九日		二月十六日
三十日		二月十七日
		二月十八日